

申入れ書

小牧基地指令・木村政和様および隊員の皆様へ

自衛隊にかかわる事故、「事件」が多く報道されています。

まず大変痛ましい事故がおきました。4月21日、陸上自衛隊日出生台演習場で実弾射撃訓練中の戦車・10式戦車内で砲弾が破裂し、隊員3人が亡くなり1名が重傷とのこと。ご冥福をお祈りし、重傷を負われた隊員様のご回復を望みます。すでに同演習場での使用を中止し、10式戦車と、同じ砲弾を使う90式戦車の実弾射撃をとりやめたとのこと。当然のことだと思います。隊員と周辺住民の生命にかかわることです。砲塔で爆発したとされています。暴発の原因が車体にあるのか、砲弾にあるのか、取り扱いにあるのかはわかりませんが、火薬を取り扱う兵器は生産、運搬、保管、使用にあたっていかに危険なものであるか、こうした事故がありうるということが明らかになりました。長射程ミサイルの配備にあたって防衛省は地元への十分な説明をこばんできたという経緯があります。住民の不安には根拠があることが明らかになりました。こうした重大事故を前にして事故原因・経緯の説明が必要と考えます。訓練再開より、隊員、住民の安全を最優先していただきたいと思います。事故の遠因には対中国への戦争準備が急速になされ、自衛隊(員)に重圧がかかっていることもあるのではないのでしょうか。

陸上自衛隊えびの駐屯地所属の陸自隊員が中国大使館へ包丁(刃渡り18センチ)を持って侵入したと報道されました。あり得ない事件です。この隊員は幹部候補生学校を卒業したばかりということです。しかしながら日本政府は正式な謝罪をしていません。まず謝罪して事件の背景、幹部候補生学校の教育内容など調査するべきです。中国大使館は3月に2度脅迫を受けており、元警察官、自衛官を名乗る者とのこと。侵入事件はその後でおこっており現職自衛隊員の犯行でした。極めて憂慮すべき状況です。謝罪なしとはどういことでしょうか。戦争がしたいのでしょうか？ むしろ中国のほうが冷静に対処しているように見えます。

4月12日自民党党大会で陸上自衛隊中央音楽隊の歌手が国歌を歌ったということがありました。明らかに自衛官の政治的中立を損なう自衛隊法違反の行為です。小泉防衛大臣は「私人」として参加しており問題ないとしています。隊員が歌うということは自分のところまで話しがあがっていなかったと釈明しました。自衛隊の管理体制・ガバナンスは大丈夫ですか？ 大きくゆるんできてはいませんか？

小牧基地司令

高市政権のもとで自衛隊は大変危機的な状況にあると感じています。自衛隊は戦争するためではなく自衛のための組織であるはず。民主主義、平和主義、憲法のもとにある組織にもどしていただくために努力していただきたい。 以上を要請とします。

2026年4月25日

不戦へのネットワーク

名古屋市中村区那古野 1 の 44 の 17 嶋田ビル 203

TEL050-3593-5130